

製造品出荷額等8,235億円

富士市は県下で連続トップ

昭和51年12月31日現在で実施した「工業統計調査」の富士市のあらましが、このほどまとまりました。

なおこの速報の数字は、後日公表する「結果報告書の数字と多少の違いがあります。

事業所数は1,328工場

まず産業別事業所数は1,328事業所で、このうち精密機械、非鉄金属がそれぞれ増加、減少したものはゴム製品、窯業土石、鉄鋼業、パルプ紙、などがあげられています。構成比で見ますと、パルプ紙が344事業所(25.9%)で第1位、以下一般機械238事業所(17.9%)、金属製品132事業所(9.9%)、食料品124事業所(9.3%)、木材・木製品75事業所(5.6%)の順になっています。

従業者数は45,937人

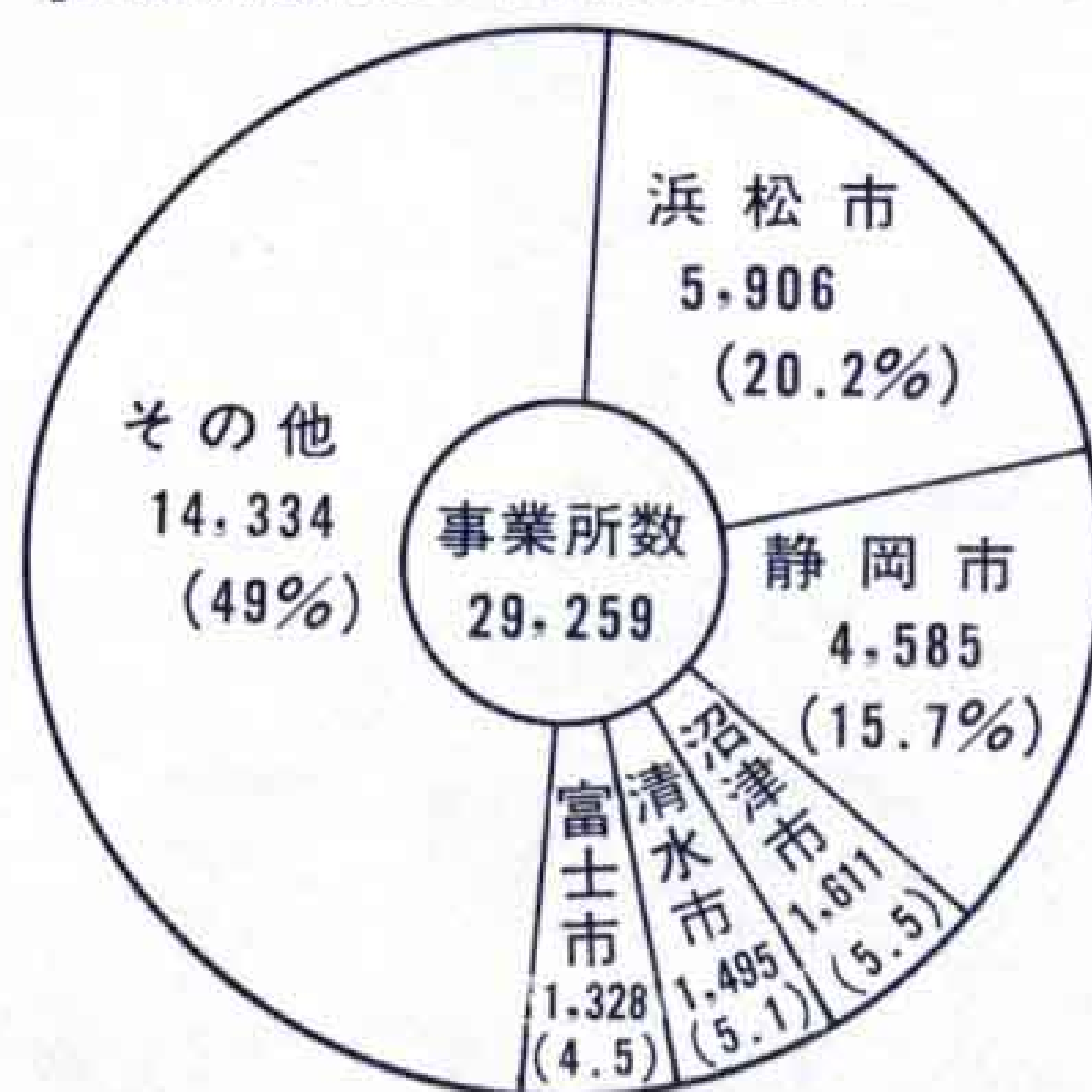
つぎに従業者数では、45,937人で

前年にくらべ970人(2.1%)の減少
産業別で前年とくらべ増加した主なものは、石油・石炭、電気機械、衣服、輸送機械等であり、一方減少したものには金属製品、一般機械、鉄鋼業、窯業土石、非鉄金属等です。従業者を産業別の構成比で見ますとパルプ紙が16,646人(36.2%)で第1位、つづいて輸送機械9,280人(20.2%)、一般機械6,866人(14.9%)

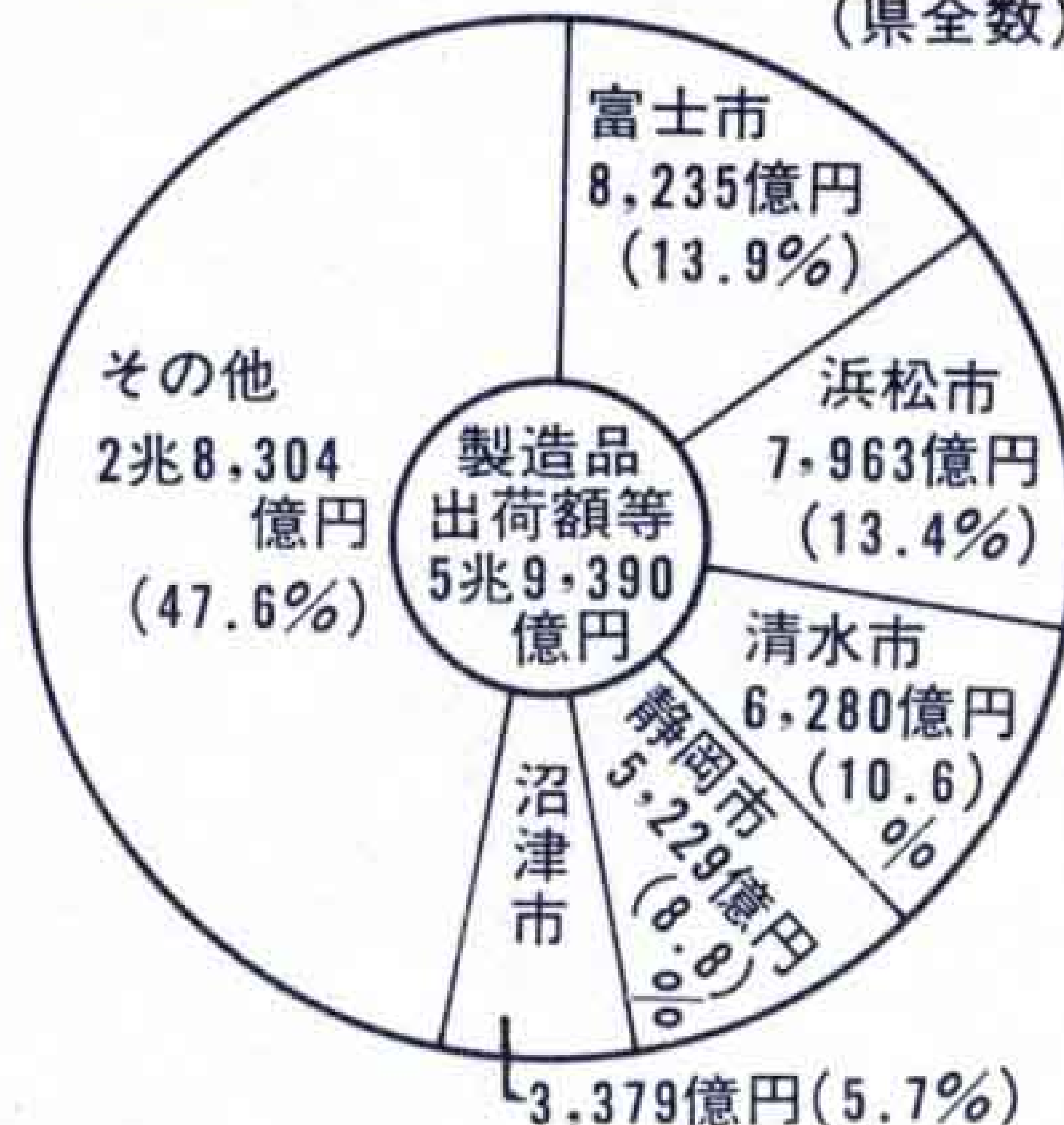
等の順となっています。

また製造品出荷額等では、富士市が8,235億円で断然トップを占め、県下の総出荷額等の13.9%、ついで浜松市の7,963億円(13.4%)、清水市6,280億円(10.6%)、静岡市5,229億円(8.8%)、沼津市3,379億円(5.7%)の順で、この五大市で県全体の52.4%を占めています。

事業所数及び同構成比(県全数)



製造品出荷額等及び同構成比(県全数)



富士市の産業別事業所数

産業別	年次		前年対比
	50年	51年	
総数	1,334	1,328	99.6%
食料品	124	124	100.0
繊維工業	36	37	102.8
衣服	11	12	109.1
木材・木製品	76	75	98.7
家具・装備品	26	27	103.8
パルプ・紙	358	344	96.1
出版・印刷	41	42	102.4
化学工業	18	20	111.1
石油・石炭	5	5	100.0
ゴム製品	3	1	33.3
窯業・土石	28	24	85.7
鉄鋼業	29	25	86.2
非鉄金属	23	27	117.4
金属製品	131	132	100.8
一般機械	238	238	100.0
電気機械	52	50	96.1
輸送機械	73	81	111.0
精密機械	3	5	166.7
その他	59	59	100.0

富士市の産業別製造品出荷額等

産業別	製造品出荷額等(万円)		前年対比
	50年	51年	
総数	76,568,455	82,352,114	107.6%
食料品	2,548,826	3,108,261	121.9
繊維工業	186,822	287,468	153.9
衣服	X	X	X
木材・木製品	516,585	516,114	99.9
家具・装備品	46,123	53,326	115.6
パルプ・紙	29,956,892	33,678,925	112.4
出版・印刷	329,527	445,334	135.1
化学工業	8,642,928	10,676,751	123.5
石油・石炭	X	X	X
ゴム製品	X	X	X
窯業・土石	539,602	431,558	80.0
鉄鋼業	852,183	1,169,108	137.2
非鉄金属	113,106	82,516	73.0
金属製品	2,707,813	1,906,478	70.4
一般機械	16,672,263	10,060,583	60.3
電気機械	741,609	999,035	134.7
輸送機械	11,658,610	17,830,137	152.9
精密機械	X	X	X
その他	843,230	887,497	105.2